

第3章 操作パネルと印刷の基本操作

3.1 電源スイッチと操作パネル

この項では、電源スイッチと操作パネル上の各スイッチの取り扱い方法、およびランプの意味について述べます。

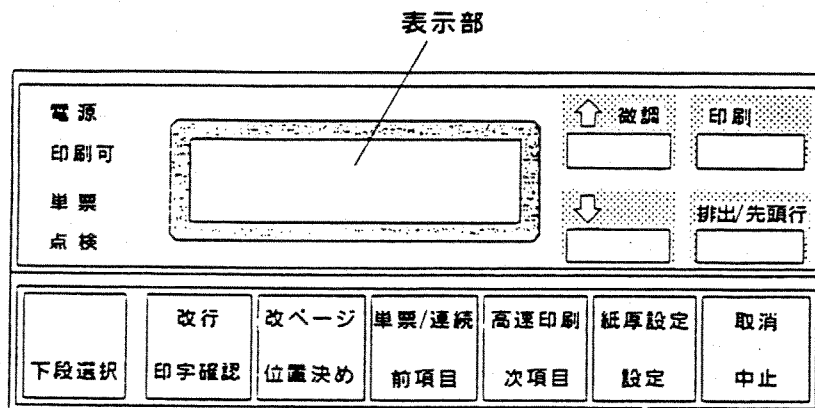
電源スイッチ

(On) 側に倒すと電源が入り、プリンターの初期診断テストが行われます。

その後、初期設定値で連続紙モードが設定されていれば、連続用紙が先頭行位置まで送られます。また、単票モードが設定されていれば、単票ランプが点灯します。初期診断テストで異常が発見された場合、点検ランプが点灯し表示部に異常の内容が表示されます。この場合、IBM 5577-H02 印刷装置 クイック・ガイド、N:GA18-7039を参照してください。

(Off) 側に倒すと電源が切れ、操作パネル上のランプはすべて消えます。

操作パネル上のスイッチ



以下に操作パネル上のスイッチの基本的な取り扱いを説明します。

注) 印刷可状態では、印刷スイッチ、排出/先頭行スイッチ、微調 \uparrow 、 \downarrow スイッチ以外のスイッチは機能しません。

プリンターがエラー状態のときには、クイック・ガイドを参照してエラーを回復してから操作をしてください。

操作パネル上のスイッチと機能

印刷スイッチ

印刷可能状態（印刷可ランプが点灯している。）と印刷不可状態（印刷可ランプが消えている。）とを切り替えます。

- 印刷可能状態のとき、このスイッチを押すと、印刷可ランプが消え印刷不可状態になります。

注) 印刷をしているときは、現在印刷中の行を印刷し終えた後、印刷不可状態になります。

- 印刷不可状態のときに、このスイッチを押すと、印刷可ランプがつき印刷可能状態になります。単票モードのときは用紙吸入可能状態になります。
- 排出/先頭行スイッチが押されて連続用紙のミシン目が切り取り位置にあるとき、このスイッチを押すと先頭行位置に用紙が戻ります。
- 単票モードでの紙づまりのとき、上部カバーが開いているとき、またはエラーを検出してブザーが鳴っているとき、このスイッチを押すとブザーが停止します。
- 連続用紙に印字中、点検ランプが点灯し、「001 ヨウシ テンケン」が表示されて印刷が中断しているとき、このスイッチを押すとブザーが停止し、1行印刷して再び印刷不可状態になります。繰り返しこのスイッチを押して、論理ページの最終印字位置まで印刷することができます。

注) 上部カバーが開いているとき、このスイッチを押しても印刷可能状態にはなりません。

排出/先頭行スイッチ

- 連続紙モードのとき、
 - － 用紙先端がトラクターの位置にあるとき、このスイッチを押すと用紙が先頭行位置まで送られます。
 - － 用紙が吸入されているとき、このスイッチを押すと用紙のミシン目が切り取り位置(カッターがついています)まで排出されます。
 - － 用紙終了(End Of Form: EOF)状態のとき、このスイッチを押すと、プリンター内部に残っている用紙をすべて排出します。
- 単票モードのとき
 - － 吸入されている用紙を排出します。

注:

1. 印字中あるいは上部カバーが開いている状態では、このスイッチは機能しません。
2. プリンターに初期設定または制御コードによって設定されているページ長と、実際に使用している用紙のページ長が異なると、切り取り位置とミシン目が合いません。

⇕微調スイッチ

1回押すと用紙が 0.42 mm(1/60 インチ)順方向に送られます。1秒以上押し続けると連続的に用紙を送ります。位置決めスイッチを押さない限りは、他のプリンターのプラテン・ノブによる手動紙送り操作と同様の効果をもたらします。(制御上の現在位置は変わらない)

注:

1. 単票モードのとき最終印字位置を超えてこのスイッチが押されると用紙が排出されます。
2. 印字中は、このスイッチは機能しません。
3. 下向き印刷の途中で押すと、送り方向が変わるため、印字位置がずれることがあります。印字位置を確認の上、使用してください。
(位置決めスイッチの注を参照してください。)

⇐微調スイッチ

1回押すと用紙が0.42 mm(1/60 インチ)逆方向に送られます。1秒以上押し続けると連続的に用紙を送ります。位置決めスイッチを押さない限りは、他のプリンターのプラテン・ノブによる手動紙送り操作と同様の効果をもたらします。

注:

1. 単票モードのとき用紙の上端から6.4mm(0.25インチ)より上(逆方向)には用紙を送りません。
2. 印字中は、このスイッチは機能しません。
3. 上向き印刷の途中で押すと、送り方向が変わるため、印字位置がずれることがあります。印字位置を確認の上、使用してください。
(位置決めスイッチの注を参照してください。)

改行スイッチ

用紙を1行分送ります。1秒以上押すと、押している間、連続的に用紙を送ります。

注) 1.印刷不可状態でのみ機能します。

2.上部カバーが開いている状態では連続送りはできません。

3.単票用紙の場合、最終印字位置を超えて行送りされると用紙が排出されます。

排出/先頭行スイッチが押されて連続用紙のミシン目が切り取り位置にあるときも、このスイッチは有効です。このスイッチを押した後も、排出/先頭行スイッチを押すと連続紙は先頭行位置に戻ります。

改ページ・スイッチ

● 連続紙モードのとき、

— 次ページの先頭行位置まで用紙が送られます。出荷時にはページ長が11インチに設定されています。

注) ページ長は、制御コードによって変更することもできます。

— 排出/先頭行スイッチが押されてミシン目が切り取り位置にあるとき、このスイッチを押すと、次ページのミシン目が切り取り位置まで送られます。

● 単票モードのとき

— 吸入されている用紙を排出します。

● ASF自動モードのとき(自動給紙機構を使用している場合)

— 用紙を吸入します。

— すでに吸入されている用紙があれば、その用紙を排出し次の用紙を吸入します。

注) 1.印刷不可状態でのみ機能します。

2.上部カバーが開いている状態では、このスイッチは操作できません

3.トレース・モードのとき、このスイッチを押すと、プリンターのバッファ中のデータをすべて印字してから改ページします。

単票/連続スイッチ

印刷不可状態でのみ機能します。

単票モード(単票ランプが点灯している)と連続モード(単票ランプが消えている)を切り替えます。

高速印刷スイッチ

高速印刷モード(「コウソク」と表示されている)と通常速印刷モードを切り替えます。

このスイッチで高速印刷が設定されている場合、制御コードによって設定された印刷速度にかかわらず、すべて高速で印刷されます。
通常速印刷が設定されている場合、制御コードによって設定された印刷速度で印刷されます。

連続紙モードのとき、印刷不可状態で2秒以上押すと、紙送りローラーが開いて用紙づまりの際用紙を取り除きやすくなります。

注) 印刷不可状態でのみ機能します

紙厚設定スイッチ

印刷不可状態でのみ機能します。
用紙厚を自動的に設定する(自動設定)か、任意の位置に固定する(手動設定)かを選択します。(「3.3 用紙厚の調整」参照)

取消スイッチ

システム・ユニットに印刷取り消しの要求を出します。実際に印刷が取り消されるかどうかは、使用しているソフトウェアによって決められます。

注) 印刷不可状態でのみ機能します。

下段選択スイッチ

各スイッチの下段に表示されているスイッチ機能を働かせるために使用します。下段のスイッチが選択されると、「ゲダン キノウ」と表示されます。「ゲダン キノウ」と表示されている時は、印字確認、位置決め、前項目、次項目スイッチが機能します。

「ゲダン キノウ」を解除するには、再び下段選択スイッチを押して「ゲダン キノウ」という表示を消してください。また、「ゲダン キノウ」が表示されている状態から、印刷スイッチで直接印刷可能状態にすることもできます。

- 注) ● 印刷不可状態でのみ機能します。
● 下段選択スイッチを押して、スイッチの下段に表示されている機能を実行する場合には、印刷を終了するか、または、印字データを取り消してから行なってください。

印字確認スイッチ

(「ゲダン キノウ」と表示されている時、機能します。)

現在行の1行目に位置確認パターン(□)を1文字印刷します。押し続けていると初期設定により設定された最大印字幅で、順に同じパターンを印刷します。

注) プリンターのバッファに印字データが残っているときに、印字確認スイッチを押すと、以後の印字データが正しく印字されないことがありますので、印刷を終了するか、または取り消してから行ってください。

位置決めスイッチ

(「ゲダン キノウ」と表示されている時、機能します。)

このスイッチが押されたときの現在行の位置を、用紙の先頭行位置として記憶します。連続用紙の先頭行位置と単票用紙の先頭行位置は、それぞれ別々に記憶されます。連続紙モードで、排出/先頭行スイッチを押して用紙のミシン目を切り取り位置に合わせ、位置決めスイッチを押すと、その位置をミシン目位置として記憶します。ミシン目位置は先頭行位置とは別に記憶されます。この値は電源を切った後も保持されます。

単票モードにおいて、用紙がセットされていないときに位置決めスイッチを押すと、単票用紙の先頭行位置が用紙先端から約6.4 mm(1/4インチ)の位置に設定されます。

注: 位置決めを行う前に \uparrow スイッチや \downarrow スイッチ等で送り方向を変えた場合、現在行の位置と次に用紙をセットした時の先頭行位置が若干ずれることがあります。

位置決めを行う前には、実際に印刷する用紙送りの方向と同じ方向に \uparrow スイッチか \downarrow スイッチで用紙を送って位置合わせを行うようにしてください。

以下の4つのスイッチは、「印字テスト」、「初期値設定」、「調整」、「トレース機能」の操作を行う時に使用します。

前項目スイッチ

メニュー項目を選択するときに、項目を1つ前の項目に戻します。

次項目スイッチ

メニュー項目を選択するときに、項目を1つ次の項目に進めます。

設定スイッチ

メニュー項目を設定あるいは実行するときに押します。

中止スイッチ

設定を途中で中止するときに、使用されます。

このスイッチが押されると、1つ前のメニューに戻ります。

操作パネル上のランプ

電源ランプ

(緑色)

プリンターに電源が入っているときに点灯します。

印刷可ランプ

(緑色)

プリンターが印刷可能状態にあるときに点灯します。

単票ランプ

(緑色)

用紙モードが単票モードのときに点灯します。

点検ランプ

(黄色)

プリンターに何らかの問題があるときに点灯します。

このランプが点灯している場合、表示部にエラーコードとメッセージが表示されます。

クイック・ガイドを参照してください。

表示部

- プリンターの状況をメッセージで表示します。
- 「印字テスト」、「初期値設定」、「調整」、「トレース」のときは選択メニューを表示します。
- メッセージは第5章、メッセージ集を参照してください。

ブザー

以下の状態のときにはブザーが鳴ります。

- カバーが開いた。（カバー開放状態）
- 連続用紙がなくなった。（用紙切れ）
- 単票用紙がプリンターの中につまった。（単票用紙づまり）
- プリンター内部に異常が発見された。

注) ブザーを止めるためには印刷スイッチを押してください。初期設定機能によりブザーが鳴らないようにすることもできます。

3.2 印刷の開始と停止

印刷の開始

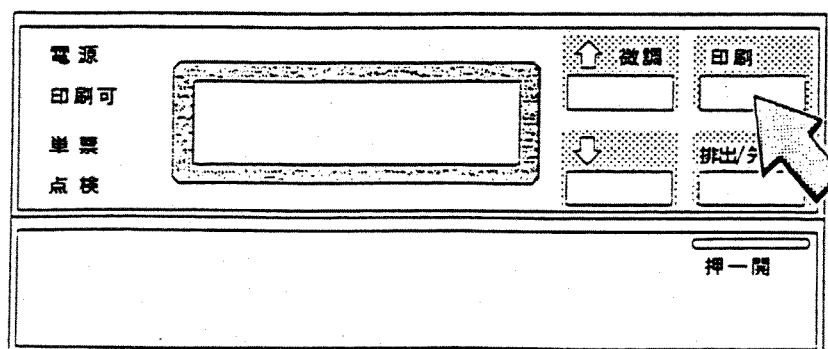
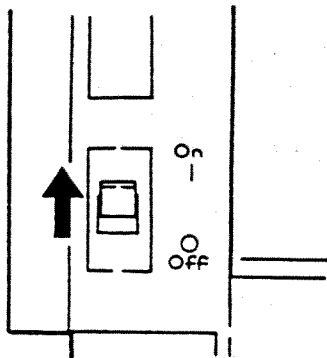
連続用紙を使用する場合には、連続用紙をセットしてから、プリンターの電源を入れてください。

印刷不可状態（印刷可ランプが消えている）のときは印刷スイッチを押してください。プリンターは印刷可能状態になります。

- 単票モードの場合、用紙がセットされれば自動的に用紙を吸入します。

その後、システム・ユニットから印刷命令が送られてくると印刷を開始します。

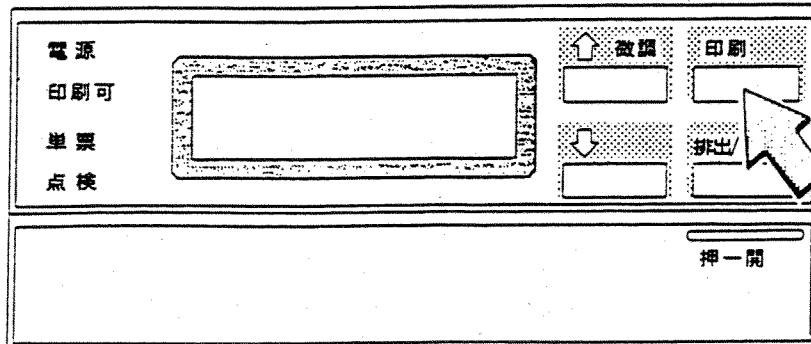
注) カバーが開いていたり、用紙切れの場合、その原因を取り除いてから印刷スイッチを押してください。点検ランプがついている場合は IBM 5577-H02 印刷装置 クイック・ガイド, N:GA18-7039 を参照してください。



印刷の停止

印刷スイッチを押してください。

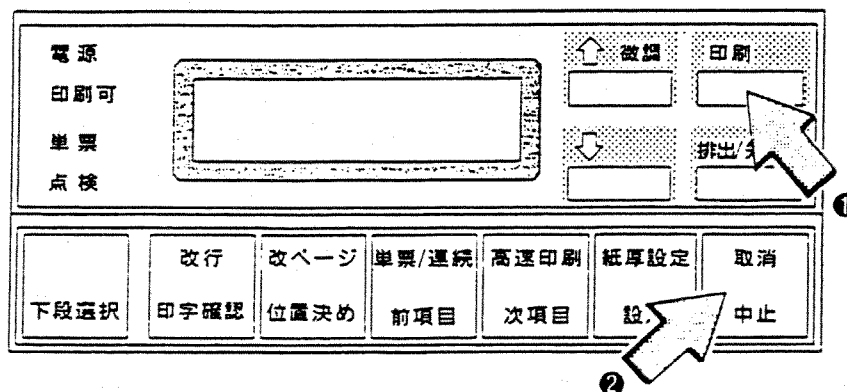
現在印刷している行を印刷し終えた後、印刷可ランプが消えプリンターは印刷不可状態になります。



印刷の取消

プリンターを印刷不可状態にして、操作パネルカバーを開け、取消スイッチを押してください。印刷を取り消す要求がシステム・ユニットに送られます。

実際に印刷が取り消されるかどうかはソフトウェアによって決められます。



印刷業務の終了

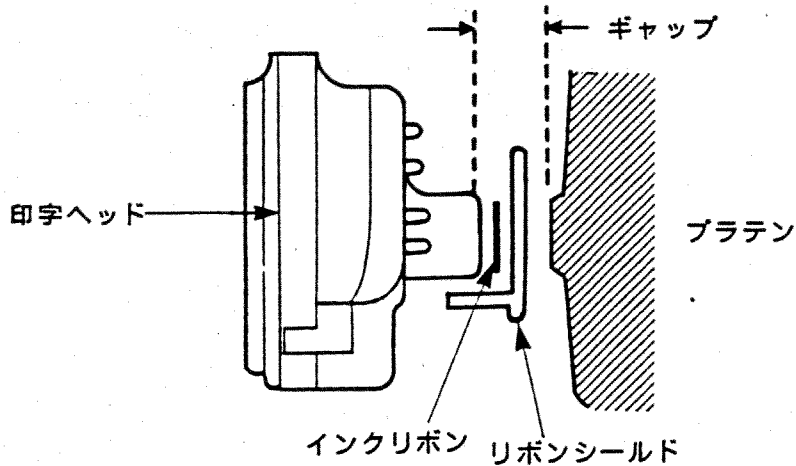
印刷業務が終了し、プリンターの電源を切るときには、次のことに注意してください。

- 連続用紙がセットされている場合は、用紙をミシン目で切り、単票モードに切り替えた後、連続用紙をトラクターから外してください。
- 自動給紙機構に用紙が残っている場合は、用紙を取り外してください。
- トラクターから連続用紙を外したあと、トラクターを閉じてください。トラクターが閉じていないと、前面カバーがきちんと閉じず、自己診断機能でエラーを出したり用紙づまりなどを起こす原因となります。

用紙をセットしたままにしておくと、用紙がカールして用紙づまりの原因になります。必ず取り外して、用紙は平らなところに保管してください。

3.3 用紙厚の調整

最良の印字品質を得るためには、用紙厚に応じて印字ヘッドとプラテン間の距離（ギャップ）を調整する必要があります。



用紙厚の調整には、以下の2つのモードがあります。

- 自動設定モード

自動設定では、使用する用紙の厚さに応じてプリンターが自動的に印字ヘッドとプラテン間の距離を設定します。

- 手動（用紙固定）設定モード

手動（用紙固定）設定では、操作パネルからの入力によって希望の値に用紙厚を固定します。（ラベル紙、封筒など部分的に紙の厚みが異なるときに使用します。）

設定可能な範囲は、以下の6通りです。

操作パネル・用紙厚設定値の表示

1	ジドウ		自動設定モード
2	カミアツ コテイ	—	
3	カミアツ コテイ	— —	手動（用紙固定）設定モード
4	カミアツ コテイ	— — —	
5	カミアツ コテイ	— — — —	
6	カミアツ コテイ	— — — — —	

手動（用紙固定）設定モードの場合には、以下の表を参照して設定してください。

用紙の重量（kg）と用紙厚設定表示

用紙枚数	1枚目 (kg)	2枚目 (kg)	3枚目 (kg)	4枚目 (kg)	5枚目 (kg)	厚さ (mm)	用紙厚設定 値の表示
オリジナルのみ*	55	—	—	—	—	0.08	カミアツコテイ—
	70	—	—	—	—	0.10	カミアツコテイ—～—
	90	—	—	—	—	0.13	カミアツコテイ—
	110	—	—	—	—	0.16	カミアツコテイ—
	135	—	—	—	—	0.19	カミアツコテイ—～—
オリジナル+1	34	55	—	—	—	0.14	カミアツコテイ—～—
		70	—	—	—	0.16	カミアツコテイ—
		90	—	—	—	0.19	カミアツコテイ—～—
		110	—	—	—	0.22	カミアツコテイ—～—
オリジナル+2	34	34	34	—	—	0.18	カミアツコテイ—
			55	—	—	0.20	カミアツコテイ—
			70	—	—	0.22	カミアツコテイ—～—
オリジナル+3	34	34	34	34	—	0.24	カミアツコテイ—～—
オリジナル+4	34	34	34	34	34	0.30	カミアツコテイ—

重量：用紙の厚さの単位で四六判（788mm×1091mm）の用紙1000枚の重量のこと。

- 注) 1. *印のオリジナルのみの用紙の場合、単票用紙では40kgから、連続用紙では45kgから使用できます。
2. 用紙厚設定値が上記最適値より大きい場合は、印字のかすれを生じ、印字ヘッドの寿命を短くします。

やむを得ず0.3mmを超える用紙を使用する場合は、印刷不可状態で紙厚設定スイッチを押し、「カミアツ チョウセイ」と表示させた後、下段スイッチを押しながら紙厚設定スイッチを2秒以上押してください。

以下の6通りの設定が追加されます。

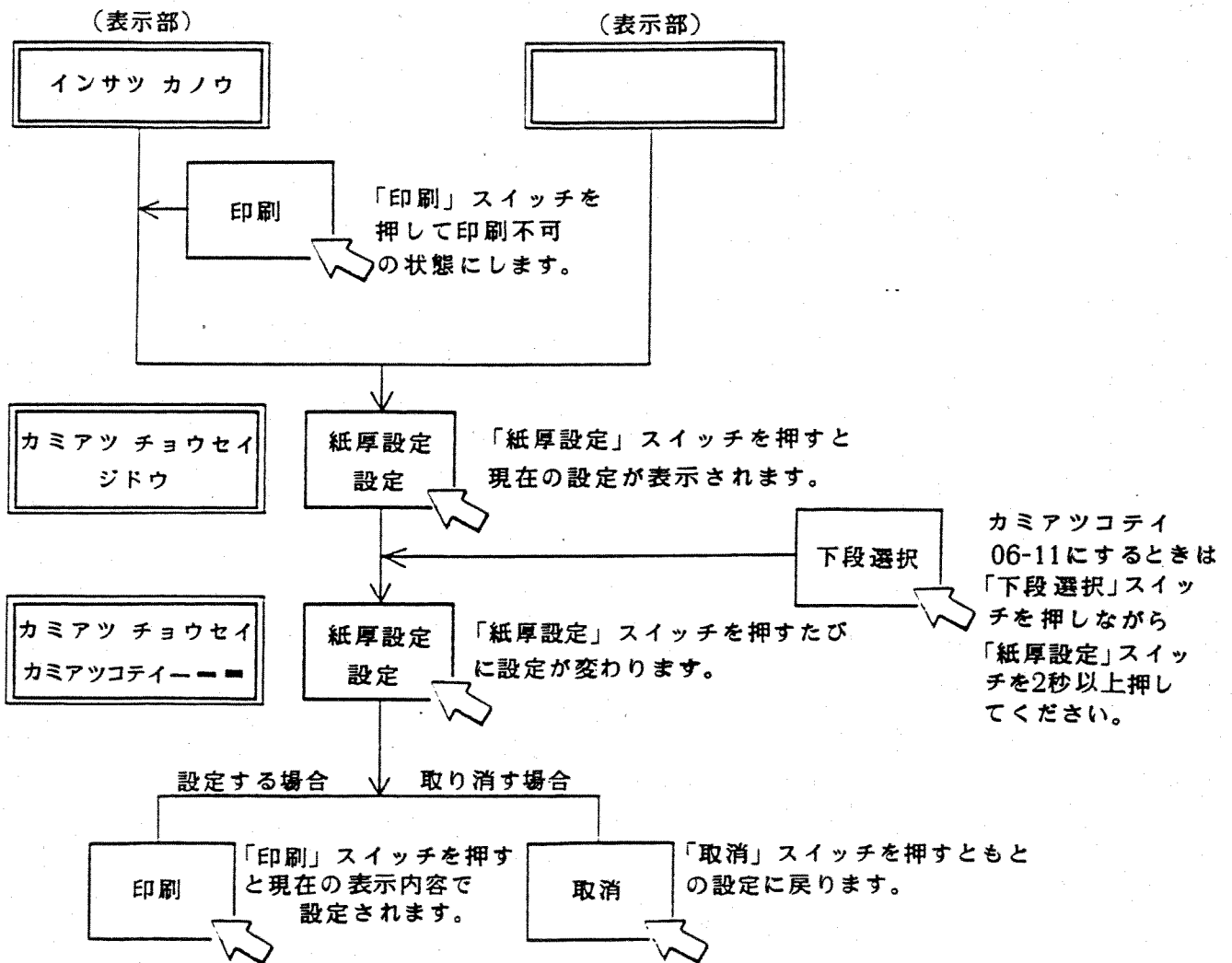
- 7 カミアツ コテイ 06
- 8 カミアツ コテイ 07
- 9 カミアツ コテイ 08
- 10 カミアツ コテイ 09
- 11 カミアツ コテイ 10
- 12 カミアツ コテイ 11

カミアツ コテイ 06～11の範囲では、リボンよごれや用紙づまりが発生しない程度

できるだけ小さい設定値（数字）を選択してください。

- 注) ー 以上の設定は、電源を切ることにより取り消され、次に電源を入れたときには、初期設定値で記憶された設定値になります。
- ー 自動設定の場合は、初期設定値の変更により「コク」、「フツウ」、「ウスク」のいずれかを選択することにより、複写紙等の印字濃度を微調整することができます。（「4.1 初期設定」参照）

設定方法



3.4 用紙モードの切り替え

連続紙モードから単票モードへ、単票モードから連続紙モードへ用紙モードを切り替える手順について説明します。

自動給紙機構を使用している場合は、3.7の自動給紙機構の操作を参照してください。

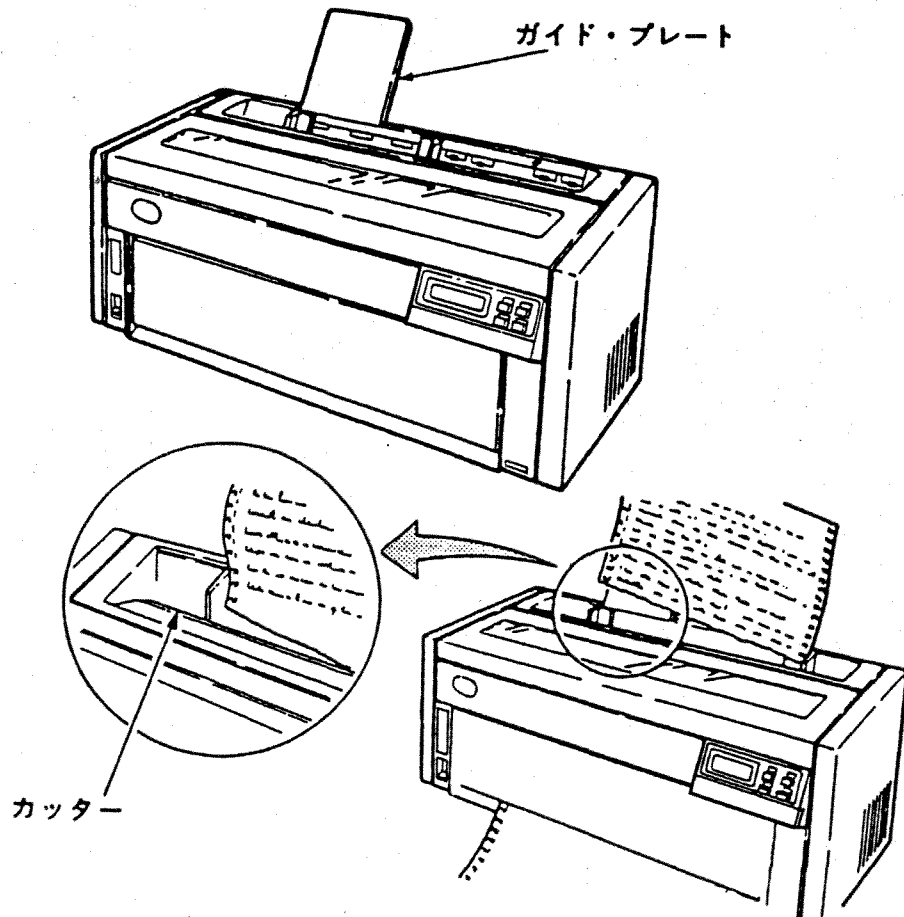
連続紙モードから単票モード

- 1 印刷不可状態になっている（印刷可ランプが消えている）ことを確かめてください。

排出/先頭行スイッチを押してください。

印刷済みの連続用紙が排出されますので、ミシン目で切り離してください。

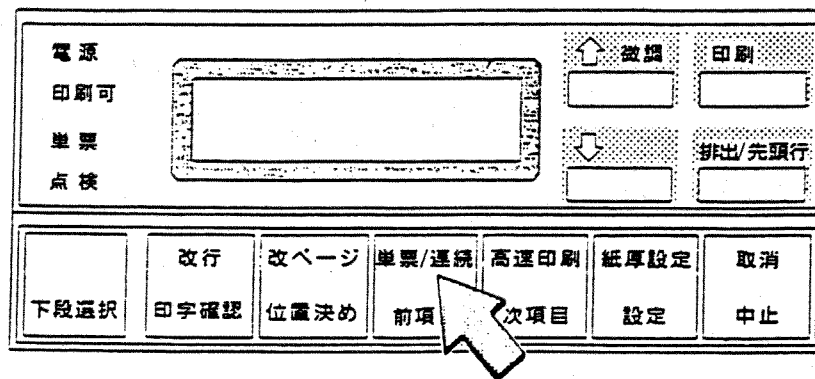
ガイド・プレートを取り付けてください。



- 2 操作パネル・カバーを開け、単票/連続スイッチを押してください。連続用紙がトラクターの位置まで逆送りされ単票ランプがつき、単票モードになります。

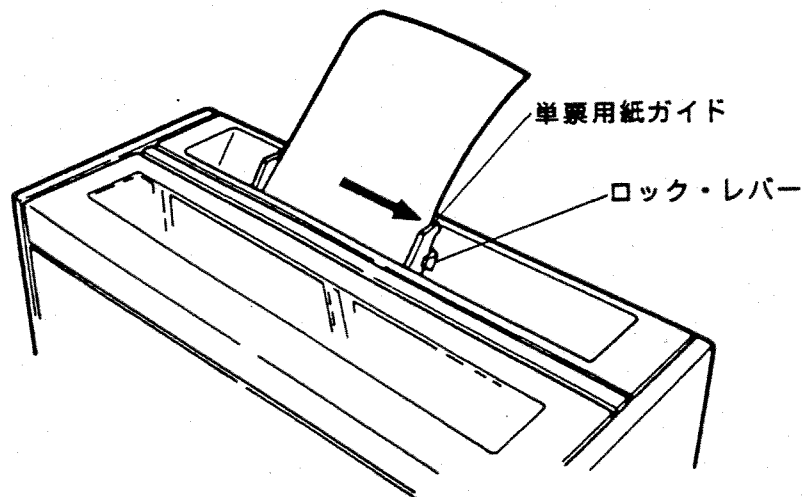
このとき、連続用紙をトラクターから取り外す必要はありません。

注) 連続用紙を取り外した場合、トラクターの用紙押さえを倒し固定レバーをロックしておかないと、用紙づまりを起すことがあります。



- 3 単票用紙ガイドを用紙ガイドのロック・レバーを握りながら用紙に合わせて調整し、用紙をセットしてください。

注) 両側の用紙ガイドと用紙の間にすき間(1 mm程度)をあけてください。用紙厚調整が手動(用紙固定)設定モードになっているときは、用紙の厚さに応じて設定値を変更してください。(「3.3 用紙厚の調整」参照)



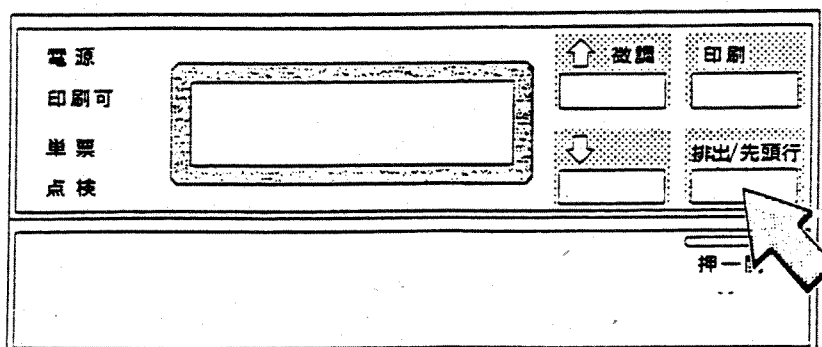
以上で連続紙モードから単票モードへの切り替えは終了です。
操作パネル・カバーを閉じて、使用してください。

単票モードから連続紙モード

注) 連続用紙を使用する場合はガイド・プレートを外してください。

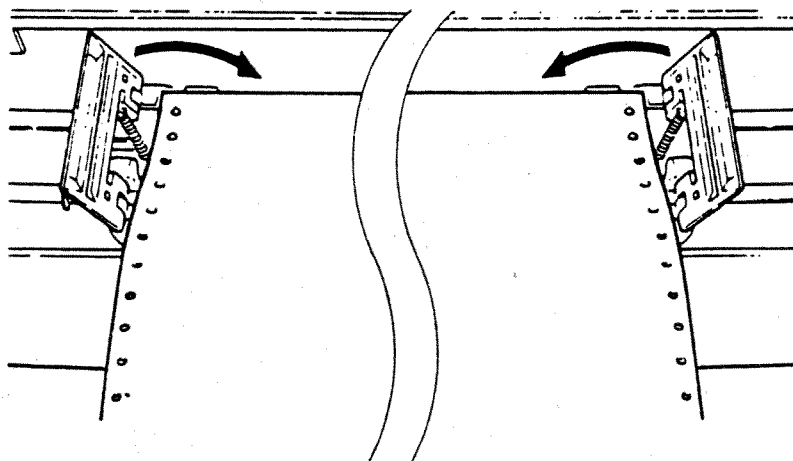
- 1 印刷不可状態（印刷可ランプが消えている）であることを確かめてください。単票用紙が吸入されている場合は排出/先頭行スイッチを押して排出してください。

また、用紙ガイド上にある単票用紙も取り除いてください。



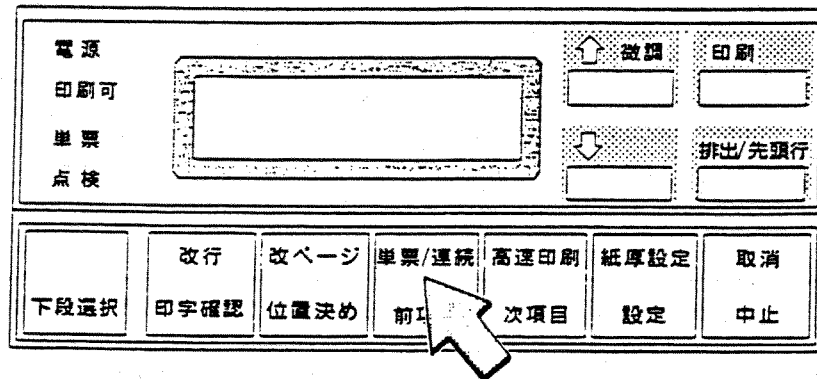
- 2 左右のトラクターを用紙に合わせて調整し、用紙をセットしてください。

注) 用紙厚調整が手動（用紙固定）設定モードになっているときは、用紙の厚さに応じて設定値を変更してください。（「3.3 用紙厚の調整」参照）



- 3 操作パネル・カバーを開け、単票/連続スイッチを押してください。連続用紙が先頭行位置まで送られ単票ランプが消え、連続紙モードになります。
上部の用紙ガイドを連続紙の幅に合わせてください。

注)「ヨウシヲ トリノゾイテ クダサイ」と表示されている場合には、単票用紙ガイドの中の単票用紙を取り除いてください。



以上で用紙モードの切り替えは終了です。